

ストップ温暖化センターみやぎ「通信」Vol.23



CO₂排出6%削減なんて難しくない！
ゲームを通して省エネについて学ぶ

3月31日（木）に仙台市市民活動サポートセンターにて「集まれ！省エネゲーマー」を開催しました。京都議定書の発効を受けて、市民がくらしの中で取り組めることを楽しく学んでもらおうとセンターが企画しました。

事務局から京都議定書の発効に関する話題提供を行った後、NPO法人「足元から地球温暖化を考える市民ネット・えどがわ」作成のプログラムを使用して、省エネゲームを行いました。このゲームはグループで300万円持っているという仮定で、省エネ型電化製品や住宅構造の改善をシミュレーションするものです。参加者からは「買い替えという手法だけでも大きな効果があることがわかった」「初めて会った人たちとでもディスカッションしながら省エネについて話し合えてよかつ

た」という感想をいただきました。運営については推進員の千葉浩克さん、山田わかさんに協力いただきました。（参加：21名）



「冷蔵庫は買い替えたほうがいいんじゃない？」
「いやいやまず車が…」



宮城県地球温暖化防止活動推進員“2期生”が誕生！

4月15日（金）、宮城県庁にて新たに誕生した21名の宮城県地球温暖化防止活動推進員の委嘱交付式が行われました。一人ひとりに委嘱状が手渡され、その後宮城県環境生活部長の三浦秀一氏から「どうぞ自信を持って活動して行ってほしい」とあいさつがありました。



委嘱状を受け取る推進員



委嘱式後、キャンペーンの企画に向けて
打ち合わせをする推進員

すでに推進員として活動している「1期生」とあわせて61名の推進員が、この春から地球温暖化防止の普及啓発活動を進めています。

2期生が加わり、新しい動きも生まれています。光のページェントを否定的にとらえないで、省エネに関心がなかった人に省エネに取り組んでもらうきっかけにしようと、推進員が中心となって「光の貯金」というキャンペーンの企画準備が行われています。今後の動きが期待されます。